

昭和24年（1949）

3月、渡辺義雄宮津支部長が府連会長（33代改称2代目）に就任す。副 荒川十太郎、会計 武村栄吉、京都理容学校を理美容養成施設として厚生大臣の指定各種学校として認可。

4月、団体等規制令実施、所得税営業税の攻勢始まる。

8月、シャープ（アメリカ特使）勧告案による税制改革発表。税金攻勢による大巾の理容料金アップ45円～70円、理容化粧料金表店舗掲示。

10月、第2回京理競技大会開催、チャンピオン正門正吉（下鴨）（全国大阪大会第2位）スキット実用化、コールド・ペーマ流行。京都市は雲ヶ畠など八ヶ村編入す。

昭和25年（1950）

3月、特別行為税（税経テスト・ケース）の徵収、特行税納税は4地区1単位申告制（報償金付き）、青色申告制度実施、団体申告納税受付（非公式）。

5月、西陣地区脱退事件（高橋西陣地区会長）

7月、各地区において納税序列の紛糾、悪税法（特別行為税制）の撤廃推進運動申合せ。

10月、第3回京理競技大会開催。チャンピオン小倉良雄（下鴨）理容料金70円。進駐軍兵士髪型のG I刈（ジーアイ・カット General Jrsue Cut ショット・スクエア型）の流行、京都府知事に嵯峨虎三当選、綾部市誕生。

昭和26年（1951）

3月、森口府連会長（第34代改称3代目）再任。副は府市2名制となる。副会长 上原逸、平野栄三郎、会計 荒川十太郎。悪税法の理容特別行為税廃止。財団法人を学校法人とし、京理学園京都理容学校に組織変更の認可。

6月、第1次改正理美容師法の特別に関する法律施行。（法律第151号）理容料金70円～100円。

10月、第4回京理競技大会開催。チャンピオン下前国太郎。（2回五条）宇治市誕生。

昭和27年（1952）

2月、西陣地区の連合会復帰（高橋地区会長）

3月19日、全理連、池田重吉（大阪）理事長が交通事故で急逝。

4月16日、全理連定時総会において渡辺金蔵（北海道）理事は全理連理事長に就任。

5月、荒川十太郎（松原支部長）が府連会長に就任。副 古川隆雄（川端）会計 大阪三之助（伏見）。

7月、特例による理容師資格取得のための家族従業員特別講習会開催（各地区）。

10月30日、業界先覚者（明治末大正期）の大場秀吉師（東京、横浜 大場鉄之助の養子）

75才にて歿去。第5回京理競技大会開催。チャンピオン第1部 新早苗。第2部 金子万太郎。第5回全理連競技札幌大会開催。京都代表 第1部優勝 早崎徳造（北）2位新早苗（左京）。第2部優勝 小倉良雄（左京）4位 金子万太郎（左京），理容料金100円。破壊活動防止法公布。

○ 昭和28年（1953）

3月、高橋幸嗣西陣地区会長が京都府連合会長に就任す（第36代改称5代目）。副 古川隆雄、佐々木雍民。

4月、青色申告納税正式第1回勧説説明会、理容料金基準と経営費（原価計算及び生活費）と税金の問題検討。

6月、低料金問題トラブル解消話合会（川端地区、松原地区）理容料金改正130円～150円（12月実施）。

第6回京理競技大会開催。チャンピオンは第1部 中谷義男（五条）第2部 立木朝造（上京）NHKテレビジョン放送開始。

昭和29年（1954）

3月、高橋府連会長は全理連外部長に就任。

4月、京都理容国民健康保険組合発足（理事長 高橋幸嗣）

5月、理容料金問題で京都婦人会代表者と組合役員（幹部）が会合（於 奥村会館）。

9月、全理連の井手藤一副理事長（大阪）は理容低料金問題のため自殺す。理容料金150円。

10月、低料金問題第2回会合。京理競技大会第7回開催。チャンピオン第1部 中井清之助（西陣）第2部 村上定男（松原）第3部 五十嵐則男（松原）全理連 第7回競技静岡大会開催。京都代表 村上定男（松原）は第2部2位。

12月、京理学校定員各科100名宛及び通信課程増設の認可。学則1部変更認可。山陰宮津市誕生。

昭和30年（1955）

理容料金について第1回公示（組合）自販料金と分割料金実施（シャンプ料金等）

9月、京都理容学校創立40周年記念式典挙行（竹原富三校長、高橋幸嗣理事長）。第8回京理競技大会開催。チャンピオン第1部 畑田弘幸（五条）第2部 西山武次（北）第3部 田中一（五条）

12月、京理学校通信課程授業料変更の件認可。府連組合員数1,437人（市902人、府537人）京都市人口1,204,084人。理容料金150円。フロント・フォール型（Front Fall 前額下し）ヘア・スタイルが芸能界より流行す。亀岡市誕生、北区、南区新設。